

# そらこめ通信

No.87 2017年 10月号

このたびは弊社の米をお買い上げ頂き誠にありがとうございます。日頃よりご愛顧頂いております皆様にはこの場をお借りして厚くお礼を申し上げます。

9月も終わりに近づき、連日肌寒い日が続いています。少し気が早いのかも知れませんが、そろそろ初冠雪の便りが届きそうな雰囲気が漂っています。

9月は何と言っても収穫の月です。先日、稲刈りに先駆けて弊社の農場でも収量調査が行われました。収量調査とは、調査対象のほ場(標本筆)をいくつか選抜し、ひとつのほ場について一定の面積分の稲を刈り取り、1㎡当たりの株数や1株当たりの穂数、1穂当たりの粒数について調べるとともに、その重さを量るなどしてその年における10a当たりの予想収量を推計するものです。調査の結果、収量的にはほぼ平年並みとのこと。ただ、例年に比べて生育が遅れ気味で、ほ場の一部で成熟していないところが見られたことから、稲刈り開始時期については難しい判断になったようです。弊社は、9月21日の午後から稲刈りを開始しました。しかし、雨が多いことに加えて、成熟しきれない粒が混じっていたことなどから、収穫作業については急がずに、ほ場のようすを見極めながら進めることにしました。北海道農政部による9月15日現在での水稲の生育状況は全道平均で5日遅れとか。弊社の稲刈りの進み具合ですが、この原稿を書いている時点(9月29日)で半分ほどの進捗率になっていて、全て終わるのは10月10日頃になりそう。既に刈り取りが終わった「ななつぼし」について言えば、収量もまずまずで、タンパク値も6%台と低めに推移しており、食味的には大いに期待が持てそうです(笑)。

ついに選挙が始まってしまいましたね。いずれにしても、選挙に勝つための数字合わせは勘弁してもらいたいところ。少子高齢化は確定した未来です。しっかりと政策論で競い合ってほしいものです。



ダリア「彩雪」(9月17日)



ダリア「ピンクオーツ」(9月17日)



ダリア「レッドストーン」(9月17日)



コンバインの進入路確保のために手刈りした稲の脱穀作業(9月21日)



コンバインによる収穫作業(9月21日)



コンバインによる収穫作業(9月21日)



収穫した籾をトラックに積み込む(9月21日)



収穫された籾は倉庫に運び込まれて...



「ななつぼし」のほ場(9月17日)



「ゆめびりか」のほ場(9月17日)



「おぼろづき」のほ場(9月17日)



「ゆきさやか」のほ場(9月17日)



「きたくりん」のほ場(9月17日)



新品種「ゆきむつみ」のほ場(9月17日)



乾燥機に直結したホッパーに投入されます(9月21日)



食味数値を測るための籾のサンプルです

今シーズン、新たな品種を二つほど作付しています。ひとつは「雪ごぜん」もうひとつは「ゆきむつみ」という品種。どちらも国の機関である農研機構が開発した品種です。「雪ごぜん」はタンパク含有率が低く穂ばらみ期耐冷性が強いことで、安定生産が可能であり業務用米として期待されている品種。一方、「ゆきむつみ」はアミロースの低さに加え「ななつぼし」並みの収量が期待できる品種で、ブレンド米や玄米食等に適しているとのこと。これからは、様々な用途に適したコメにも目を向けることが必要かと思えます。

**インターネットで美味しいお米!**

(株)空知こめ工房 ホームページ  
<http://www.sorachi-kome.jp/>  
 facebook!によるブログ「生産日誌」更新中